

令和8年度 年間授業計画

東京都立富士高等学校附属中学校

教科名	特別の教科 道徳	対象学年	1年	週時間	1時間
使用教科書	「中学道徳 あすを生きる1」（日本文教出版） 「中学道徳 あすを生きる1 道徳ノート」（日本文教出版）	教科担当	紺野 正典、末安 光理 名倉 武、歳桃 祥志		
補助教材					

授業計画

授業の目標	○中学生としての自覚をもたせ、思いやりや敬愛の気持ち、礼儀を重んずる心を育て、望ましい生活習慣の確立を図る。 ○集団の意義について理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める。				

1 学 期	学期	月	単 元	学 習 内 容	配 時 間	具 体 的 な 指 導 目 標	
	主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期	4	・難しい宿題 ・サッカーの漫画を描きたい ・人のフリマで ・村人B。には……	D-(21) 感動、畏敬の念 A-(4) 希望と勇氣、 己と強い意志 B-(6) 思いやり、感謝 C-(15) よりよい学校生活、 集団生活の充実	3	・夢をもつことで前向きに努力できるようになることや、生活の中で小さな目標をもって取り組もうとすることについての発言や記述が見られたか。 ・自分の周りにはさまざまな支えが存在していることや、それを当たり前と思わないこと、感謝の気持ちを素直に表現する大切さなどについての発言や記述が見られたか。 ・所属するさまざまな集団のために自分自身ができることを見つけ、責任をもつて行うことで自分や集団の成長や誇りが得られることや、よりよい集団の在り方についての発言や記述が見られたか。
5			・「愛情貯金」をはじめませんか ・さかなのなみだ ・言葉の向こうに	B-(7) 礼儀 C-(11) 公正、公平、社会 正義 B-(9) 相互理解、寛容	3	・あいさつが人間関係や社会生活を円滑にするものであることや、時、場所、場面に応じた言動をとうとする発言や記述が見られたか。 ・よりよい集団を築くために、いじめなどを見て見ぬふりせず、集団の一員として積極的に行動しようとする発言や記述が見られたか。 ・自分の発する言葉の向こうにそれを受け取る他者がいることや、異なった考えを受け入れることの大切さについての発言や記述が見られたか。	
6			・葉っぱ切り絵で見た道 ・ばあば ・木の声を聞く ・疾走、自転車ライダー	A-(3) 向上心、個性の伸長 D-(19) 生命の尊さ D-(20) 自然愛護 A-(2) 節度、節制	5	・自らの経験を基に自己を見つめ、自分のよさを大切に、これからの生き方の中でそれをさらに伸ばしていこうとする発言や記述が見られたか。 ・生命あるものは互いに支え合って生き、生かされていることや、自他の生命を尊重して生きたいといった発言や記述が見られたか。 ・人間が上の立場で自然を保護しようとするのではなく、自然の恵みをもたらして生かしていただいているという塚本さんの考えに共感し、自然を守ることの意味を考え、自ら自然を愛護しようとするような意欲的な発言や記述が見られたか。 ・自身の安全や防災への備えなどについて捉え直そうとする発言や記述が見られたか。	
7			・門掃き ・使っても大丈夫?	C-(12) 社会参画、 公共の精神 C-(10) 遵法精神、公德心	3	・「門掃き」に込められた助け合いの精神や社会連帯の大切さについて、深く考えているような発言や記述が見られたか。 ・法やきまりが社会でどんな役割を果たしているかを考え、自他の権利を重んじようとする発言や記述が見られたか。	
8							
9			・ソウタとミオ ・私らしさって? ・震災を乗り越えて ・一復活した郷土芸能— ・どうして?	B-(8) 友情、信頼 A-(1) 自主、自律、 自由と責任 C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重、 郷土を愛する態度 C-(11) 公正、公平、社会正義	3	・信頼し合える関係を築くために友達の良いところを見つけ、一層友達を大切にしたいといった発言や記述が見られたか。 ・周囲に感化されず、自分内にある規律に基づき、自分で考え、決め、行おうとすることの大切さについて自分自身の関わりの中で考えを深めたような発言や記述が見られたか。 ・地域に伝えられてきた伝統と文化を、自分たちが受け継いでいきたいといった発言や記述が見られたか。 ・友達の意見を聞きながら、公平性の判断基準について主体的に考えている発言や記述が見られたか。	
10			・さよなら、ホストファミリー ・違いを乗り越えて ・バスと赤ちゃん ・三人の乗客	C-(17) 我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度 C-(18) 国際理解、国際貢献 B-(6) 思いやり、感謝 B-(9) 相互理解、寛容	3	・国際社会に生きる日本人としての自覚について考え、日本のよさの理解や伝統と文化の継承に努めようとする発言や記述が見られたか。 ・困難があっても、お互いの文化や習慣を尊重し合う関係を築くことの大切さに関する発言や記述が見られたか。 ・自分の周りには多くの人々の善意があることや、人間愛の精神をもって思いやりの心を能動的に示そうとする発言や記述が見られたか。 ・理解し合うという主題に沿い、自分の考えだけでなくそれぞれの立場を尊重し、いろいろな考えがあることなど、寛容の心、相互理解の大切さに関する発言や記述が見られたか。	
2 学 期	2 学 期	11	・あらゆるものに 神は宿っている ・あったほうがいい? ・ふれあい直売所 ・あふれる愛	D-(20) 自然愛護 C-(12) 社会参画、公共の精神 C-(10) 遵法精神、公德心 D-(19) 生命の尊さ	3	・人間は自然の一部であり、人間の力は有限であることや、自然に対して謙虚に向き合おうとすることについての発言や記述が見られたか。 ・身近にあっても解決が一筋縄ではない現代的な問題に対し、よりよい社会の実現を目指して、具体的な解決を自分なりに考えようとする意欲が発言や記述に見られたか。 ・安心して過ごせる温かい集団や社会を実現するために、進んでまきを守ろうとすることに関わる発言や記述が見られたか。 ・死を待つ人々でも救おうと懸命に活動するマザー・テレサの姿に共感し、そこから生命の重さを見つめて大切にしようとする発言や記述が見られたか。	
		12	・iPS細胞で難病を治したい ・その声は	A-(5) 真理の探究、創造 C-(14) 家族愛、家庭生活の充実	3	・よりよい未来のために新しいものを創造していくことに対する意欲を示すような発言や記述が見られたか。 ・電車内での夫婦や周りの乗客の考えを自分ごととして捉え、家族の存在や在り方について考えている発言や記述が見られたか。	
		1	・ゆうへ 生きていてくれてありがとう— ・旗 ・裏庭での出来事	D-(19) 生命の尊さ B-(8) 友情、信頼 A-(1) 自主、自律、自由と責任	3	・生きていることや生かされていることの意味について考え、生命のつながりや支え合いに関する発言や記述が見られたか。 ・双方向に友達を励まし支えることの大切さについて、自分自身との関わりの中で考えている発言や記述が見られたか。 ・誠実な生き方を支える逃げない心や自分の誇りなどについて考え、自らも誠実に生きようとする発言や記述が見られたか。	
		2	・おじいさんの100ドル ・オーロラ 一光のカーテン— ・オアシスの老人 ・私は清辨のプロになる	C-(18) 国際理解、国際貢献 D-(21) 感動、畏敬の念 A-(3) 向上心、個性の伸長 C-(13) 勤労	3	・世界で起こる問題を自分たちに関わる問題として考え、「少しでも力になりたい」といった発言や記述が見られたか。 ・自然などのすばらしさに感動することのよさや、それによって人間の心が豊かになることについての発言や記述が見られたか。 ・自分のもの見方や考え、自分の置かれた環境を前向きに見つめ直す大切さについて考えている発言や記述が見られたか。 ・心を込めて仕事をするのが、充実した生き方の追求や、社会や人々に貢献しようとする意欲につながるなどの発言や記述が見られたか。	
		3	・「肝心」のバスガイド ・いつわりのバイオリン	C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重、 郷土を愛する態度 D-(22) よりよく生きる喜び	3	・自分のふるさとに対する再認識や、それを未来へ伝えていく大切さ、郷土の発展のために何ができるかなどに関する発言や記述が見られたか。 ・誰もがもつ人間の弱さや醜さに共感しながら、強さや気高さをもってよりよく生きていこうとする発言や記述が見られたか。	
指導時間		1学期：14時間、2学期：12時間、3学期：9時間、年間：35時間					

評価について	・数値ではなく、記述によって評価する。 ・他の生徒との比較による評価ではなく、生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人評価として行う。 ・生徒の道徳性そのものではなく、道徳性を養う学習活動に着目して、学びのプロセスを評価する。 ・学習の一部分だけを見て判断するのではなく、一定期間の授業の中から生徒のよさを見いだして評価する。 ・多角的・多面的な見方へ発展しているか、自分との関わりで深めているかといった点を重視して評価する。
--------	--

令和8年度 年間授業計画

東京都立富士高等学校附属中学校

教科名	特別の教科 道徳	対象学年	2年	週時間	1時間
使用教科書	「あすを生きる②」（日本文教出版） 「あすを生きる②道徳ノート」（日本文教出版）	教科担当	今福 航 荻野 駿一 白樫 知樹 徳永 裕亜		
補助教材					

授業計画

授業の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳的価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え生き方についての考えを深める。</li> <li>○道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。</li> <li>○自主的に物事に取り組み、他の人々の個性や立場を尊重し、協力し合って集団生活の向上に努めようとする態度を育てる。</li> <li>○学級や学校を愛し、自分の役割を果たして、よりよい学校生活の実現に対する意欲を高める。</li> </ul>
-------	---

学期	月	単元	学習内容	配当時間	具体的な指導目標
1学期	4	・おじさん役と私 ・おばちゃんのくれた 「おまじない」 ・挨拶は言葉の スキンシップ	・A3 向上心、個性の伸長 ・C13 勤労 ・B7 礼儀	3	・一人ひとりに必ず自分らしいよさがあり、自分を受け入れたいよう広い視野と向上心をもつて働くことで個性は輝いていくことの自覚を通して、自分らしい生き方を追求しようとする実践意欲を育てる。 ・一生懸命に仕事をする中で、必ず人の役に立ち、社会を支え、それが自分の喜びややりがい、誇りにつながることを自覚を通して、働くことで人や社会の役に立ちようとする心構えを育てる。 ・形だけではなく相手の尊重する心が挨拶の本質であり、その心を挨拶によって届けることで、円滑な人間関係が築かれることの自覚を通して、時と場に応じた言動とらうとする実践意欲を育てる。
	5	・初心 ・五月の風—カナー ・五月の風—ミカー	・A4 希望と勇気、 克己と強い意志 ・A1 自主、自律、自由と責任 ・B8 友情、信頼	3	・物事を始めたときの思いが自分の信念となり、それが目標に向かって困難を乗り越えていく原動力になることの自覚を通して、より高い目標に向けて着実にやり遂げようとする実践意欲を育てる。 ・自分の心の弱さを認め、自分の意志を再確認することで、周囲に惑わされず、自信をもって自分の意志を貫けるようになることを自覚し、自主的に考え実践に実行しようとする判断力を育てる。 ・友達から寄せられた信頼に対して偽りのない心で応えることで、よりよい友達関係を築いていくことの自覚を通して、互いに励まし合い、高め合う友達同士になろうとする実践意欲を育てる。
	6	・リスペクト アザース ・名乗らなかつた友 ・戦争を取材する ・時を越えて —榎野で生まれたきずな—	・C11 公正、公平、社会正義 ・B6 思いやり、感謝 ・A5 真理の探究、創造 ・C18 国際理解、国際貢献	5	・違いを前向きに、自分と合わない相手であっても同じ集団や社会の仲間としてその個性や存在をありのまま認めることで人種を尊重できることを自覚し、差別や偏見のない社会を実現しようとする態度を育てる。 ・相手の立場を尊重したさりげない親切やいたわりの行動が多様な感謝を生むことの自覚を通して、調いのある温かな人間関係を築こうとする態度を育てる。 ・新たな見方と多面的な考え方の発見や、正しい判断、自分や世界のよりよい未来につながることを自覚し、謙虚に未知のことを探究しようとする実践意欲を育てる。 ・同じ世界に生きている人間だからこそ、国や時代を超えて助け合おうとする心があることの自覚を通して、世界平和と人類の発展に貢献しようとする実践意欲を育てる。
	7	・父の決意 ・和樹の夏祭り	・D19 生命の尊さ ・C16 郷土の伝統と文化の尊重、 郷土を愛する態度	2	・命は自分だけのものではなく、家族などの強いきずなで結ばれた関係性に支えられて私たちは生きていることを自覚し、たった一つの命を大切に人生を生きていこうとする態度を育てる。 ・地域社会を形成するのは自分たちであるという意識をもって関わるからこそ、郷土への愛着や誇りが生まれることの自覚を通して、問題意識をもち、郷土の発展に努めようとする実践意欲を育てる。
	8				
	9	・他人の靴を 履いてみる ・ヨシト ・ネット将棋 ・樹齢七十年の杉	・B9 相互理解、寛容 ・C11 公正、公平、社会正義 ・A1 自主、自律、自由と責任 ・D21 感動、畏敬の念	3	・ほかの人の立場に立つことで、多様な視点から物事を見ることができ、自分の世界が広がることの自覚を通して、意見や立場の異なる人に対して自分から理解しようとする態度を育てる。 ・調剤に流され傍観し異質な存在を排除してしまふ人間の弱さを乗り越えて、集団の一人として正義を貫く努力が必要であることを自覚し、差別や偏見のない公正な集団をつくろうとする態度を育てる。 ・顔が見えない相手だからこそ、自分の言動を正すのは自分自身であり、自分の良心や誇りに従うことが責任ある言動につながることを自覚し、誠実に行動しようとする判断力を育てる。 ・人間の生きる時間をはかたに短くされた命がもたらした奇蹟や偉業から、私たちは生きる力を得ることができることの自覚を通して、人間の力を越えたものを歌おうとする心構えを育てる。
	10	・自分の弱さと戦え ・小さな工場の大きな 仕事 ・上勝から世界を変える ・美しい鳥取砂丘	・D22 よりよく生きる喜び ・C13 勤労 ・D20 自然愛護 ・C10 遵法精神、公德心	4	・自分の弱さや未熟さを認めようとして、自分のやってきたことや可能性を信じることが人間としての強さにつながることを自覚を通して、人間として高く生きようとする態度を育てる。 ・それぞれの職業に誇りや責任があり、社会の問題解決に貢献していることの自覚を通して、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献しようとする実践意欲を育てる。 ・人間は自然の中で生かされており、その自然を守るためには自分の生活を見つめ直し、共に生きようとする態度を育てる。 ・規則を定め互いの権利や集団の共有財産を守ること、住みよい社会をみんなでつくっていくことの自覚を通して、調和と規律を守るための法や規則を遵守しようとする態度を育てる。
11	・行動する建築家 坂 茂 ・坂のくだもの屋 ・アフガニスタンの 人々と共に ・制服は誰のもの	・C12 社会参画、公共の精神 ・B6 思いやり、感謝 ・C18 国際理解、国際貢献 ・C15 よりよい学校生活、 集団生活の充実	4	・社会の一員として助け合いの精神をもち、社会全体の利益のために自分の能力を活用することで社会的責任を果たせることの自覚を通して、社会のために貢献しようとする実践意欲を育てる。 ・人間はさりげない尊敬や深い思いやりによって支えられていること、そしてそれらに対して感謝することの難しさを自覚し、思いやりと感謝の心をもって人と接しようとする態度を育てる。 ・国際貢献とは、押し付けではなく相手の文化を尊重し、自ら持続的に平和な生活がつけよう共に歩むことであることを自覚し、自分ができる国際貢献をしようとする実践意欲を高める。 ・集団の意義や目的に立ち返って集団内の多様な願いをかなえようとする中で、学校生活が充実し、校風として後輩に継承できることの自覚を通して、よりよい校風を築こうとする実践意欲を育てる。	
12	・命を見つめて —猿渡瞳さんの 六百四十六日— ・行く年、来る年	・D19 生命の尊さ ・C17 我が国の伝統と文化の尊 重、国を愛する態度	3	・限りある生命について考え、苦しみの中にあっても懸命に生きること、生きることの豊かさや深まりが実現できることの自覚を通して、自他の生命を尊重して生きようとする実践意欲を育てる。 ・伝統文化の形は時代によって変化したが、生活の願いや思いは受け継がれており、自分も受け継ぐ一人であることを自覚し、日本の伝統と文化を継承しようとする実践意欲を育てる。	
2学期	1	・コトコの涙 ・マークはなんの ために？ ・最後のパートナー	・B9 相互理解、寛容 ・C12 社会参画、公共の精神 ・D19 生命の尊さ	3	・相手の考えや立場を尊重し、他者と謙虚に向き合うことで新たな学びが得られることの自覚を通して、素直に自らの言動や考え方を振り返り、他者から学びたいという態度を育てる。 ・困難を抱える人が生活しやすい社会は、誰もが生活しやすい社会でもあり、自分もそんな社会をつくる一員であることを自覚し、主体的に力をつけて社会をつくらうとする実践意欲を育てる。 ・あらゆる生命はかけがえのないものであり、互いに支え合って生き、生かされていることの自覚を通して、自他の生命を尊重し、感謝の心をもって生きようとする心構えを育てる。
	2	・避難所にて ・よみがえれ、えりも の森 ・足袋の季節 ・恋する涙	・A2 節度、節制 ・D20 自然愛護 ・D22 よりよく生きる喜び ・B8 友情、信頼	3	・規則正しい生活を自ら確立することは、心身の健康の維持だけでなく日々の生活に活力を与え、充実した生き方にも関わることを自覚し、節度、節制に助け、調和のある生活を送ろうとする態度を育てる。 ・人間は自然界のなかで多くの恩恵を得ており、過去と現在の自然との関わり方が未来へとつながっていくことの自覚を通して、自然に感謝しながら大切にしようとする態度を育てる。 ・人間の内にある弱さや難さに向き合って自分を奮い立たせ、強さや気高さに変えることで自己を肯定して生きていくことの自覚を通して、人間として生きる喜びを見いだそうとする態度を育てる。 ・冷静に自分を見つめ直し、友達との関係上の悩みや葛藤を乗り越えることで友情は培われるものであることの自覚を通して、友達互いに尊重し合える関係を築いていこうとする実践意欲を高める。
	3	・包む ・きいちちゃん	・C17 我が国の伝統と文化の尊 重、国を愛する態度 ・C14 家族愛、家庭生活の充実	2	・日本の伝統と文化の根底には先人が大切にきた心があること、その心は現代にも受け継がれていることの自覚を通して、我が国の伝統と文化を継承しようとする態度を育てる。 ・家族は一人ひとり個性豊かで結ばれたが互いの存在であり、家族の存在がお互いの生きる支えになることの自覚を通して、信頼と愛情のある家庭生活を築いていこうとする心構えを育てる。

指導時間	1学期：13時間、2学期：14時間、3学期：8時間、年間：35時間
------	-----------------------------------

評価について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数値ではなく、記述によって評価する。</li> <li>・他の生徒との比較による評価ではなく、生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として行う。</li> <li>・生徒の道徳性そのものではなく、道徳性を養う学習活動に着目して、学びのプロセスを評価する。</li> <li>・学習の一部分だけを見て判断するのではなく、一定期間の授業の中から生徒のよさを見いだして評価する。</li> <li>・多角的・多面的な見方へ発展しているか、自分との関わりで深めているかといった点を重視して評価する。</li> </ul>
--------	---

令和8年度 年間授業計画

東京都立富士高等学校附属中学校

教科名	特別の教科 道徳	対象学年	3年	週時間	1時間
使用教科書	「中学生の道徳 自分をのぼす3」（あかつき教育図書） 「中学生の道徳ノート 自分をのぼす3」（あかつき教育図書）		教科担当	粕谷 和宏、小島 康嵩 中島 由香里、渡部 啓太	
補助教材					

授業計画

授業の目標	<p>○道徳的価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え生き方についての考えを深める。</p> <p>○道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。</p> <p>○自らの役割と責任を自覚し、協力して集団生活の向上に努めるとともに、社会の一員として自己の人生を切り拓き社会に貢献する態度を育てる。</p> <p>○学級や学校を愛し、自分の役割を果たして、よりよい学校生活の実現に対する意欲を高める。</p>
-------	--

学期	月	単元	学習内容	配当時間	具体的な指導目標	
					1	2
1学期	4	・道徳 はじまりの時間 自分と向き合う ・夢へのステップ―大谷翔平 ・おひだまり ・十五分後の奇跡	A3 向上心、個性の伸長 A4 希望と勇気、克己と強い意思 C14 家族愛、家庭生活の充実 D19 生命の尊さ	4	・人生は自己を見つめて、時に悩みながらも、個性を生かし、伸ばしていこうとすることの連続であることに気づき、自らの向上を図る。 ・目標達成を目指して努力を積み重ねることは自信と次に向け挑戦する勇気をもたらすことに気づき、自己の可能性を伸ばし、より高い目標の達成を目指そうとする道徳的態度を養う。 ・家族の愛情と自らの家族への敬愛の念で生まれる絆に気づき、自分自身と家族の関係を見直し、よりよい家族関係を築いていこうとする道徳的実践意欲を培う。 ・人間の方を超えた生命の不思議さや尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重しようとする道徳的実践意欲を培う。	
	5	・挨拶のちから ・ライバル ・卒業文集最後の二行 ・君たちはどう考え、どう生きるか	B7 礼儀 B8 友情、信頼 C11 公正、公平、社会正義 D22 よりよく生きる喜び	4	・相手の人格を認め、尊敬や感謝の念を伝える礼儀のよさや大切さに気づき、時と場に応じて適切な言動をとろうとする道徳的実践意欲を培う。 ・心から信頼できる友達とのよさや大切さに気づき、信頼で結ばれ、互いに励まし合い、高め合う関係を築いていきたいと願う道徳的心情を育む。 ・人間性をないがしろにするいじめの残酷さと、そんな愚かないじめを引き起こす人間の弱さや醜さに気づき、差別や偏見、いじめや不正な言動を断固として許さない道徳的態度を養う。 ・さまざまな意見を読んで、いじめと人間としての生き方について考え、いじめの残酷さやその根底にある人間の弱さや醜さに気づき、自らの弱さや醜さと向き合いつつ、それを乗り越えていこうとする道徳的態度を養う。	
	6	・六万円のご縁 ・監督がくれたメダル ・ピヨ子 ・リアルとネットの不思議	B6 思いやり、感謝 C15 よりよい学校生活、集団生活の充実 A1 自主、自律、自由と責任 A2 節度、節制	4	・互いを思いやり、尊重し合う人間愛の尊さに気づき、思いやりをもって人と接するとともに、自分を支えてくれる人々に感謝し、応えようとする道徳的態度を養う。 ・集団における役割を果たすよさや大切さに気づき、自己の所属する集団の意義や役割を理解し、責任を自覚して集団生活の充実に努める道徳的実践意欲を培う。 ・情報社会における行為と責任の関係を見つ直すことの大切さに気づき、自ら考え、判断し、実行し、自己の行為の結果に責任をもつ道徳的態度を養う。 ・情報機器では度を過ぎずややすくなることの要因とより慎重に考えることの大切さに気づき、節度を守り、安全で調和のある生活を送ろうとする道徳的実践意欲を高める。	
	7	・海と空―檜野の人々 ・ベビーカー論争	C18 国際理解、国際貢献 C10 遵法精神、公徳心	2	・国境を越えて助け合う人間のよさや気高さに気づき、世界の平和と人類の発展のため、他国の人々と支え合い、助け合うことを願う道徳的心情を育む。 ・社会生活における公徳心の大切さに気づき、遵法精神とそれを支える公徳心を大切にして、誰もが暮らしやすい安定した社会の実現に努める道徳的態度を養う。	
	8					
	9	・目の見えない白鳥さんとアートを見に行く ・分身ロボットカフェへようこそ ・月明りで見送った夜汽車 ・ドナー	B9 相互理解、寛容 C13 勤労 D16 思いやり、感謝 D19 生命の尊さ	4	・いろいろなもの見方や考え方を学ぶことで自己を高めていけることに気づかせ、寛容の心でそれぞれの個性や立場を尊重しようとする道徳的態度を養う。 ・自分の能力を発揮して、社会に参加することで得られる勤労の喜びや充実感に気づき、勤労を通じて社会に貢献していこうとする道徳的実践意欲を培う。 ・相手の重荷にならない思いやりのよさや大切さに気づき、深い理解と共感に基づく思いやりの心を大切にすることの道徳的心情を育む。 ・生命倫理の問題について考えることを通じて、人間の生命は多面的・多角的にとらえることができることに気づき、自他の生命の尊厳を守る道徳的態度を養う。	
	10	・リクエスト ・二通の手紙 ・風に立つライオン	A1 自主、自律、自由と責任 C10 遵法精神、公徳心 A4 希望と勇気、克己と強い意思	3	・自律的な思考や判断と責任の大切さに気づき、主体的によく考えて判断し、行動の結果に責任をもつ道徳的態度を養う。 ・よりには安全や秩序を守るなど立法された意義があることに気づき、主体的に遵法することで規律ある安定した社会の実現に努める道徳的実践意欲を高める。 ・人生の理想を追い求める生き方を支える意志や希望に気づき、自らの人生を切り拓いていく気高さを導ぶ道徳的心情を育む。	
2学期	11	・二人の進路選択 ・小浜のさば缶、宇宙へ行く ・二人の弟子 ・尊い玉子	B8 友情、信頼 A5 真理の探究、創造 D22 よりよく生きる喜び C14 家族愛、家庭生活の充実	4	・互いの人間性を信じて思いを伝え合える信頼の大切さに気づき、互いに理解を深め、悩みや葛藤を経験しながら築かれた信頼に基づく人間関係を尊ぶ道徳的心情を育む。 ・新しい可能性への好奇心や探究心のよさや大切さに気づき、真理を探究して、新しいものを生み出していこうとする道徳的実践意欲を培う。 ・自らの弱さや醜さを乗り越えようとする人間の強さや気高さに気づき、人間としてよりよく生きる喜びを見いだしていこうとする道徳的実践意欲を培う。 ・深い愛情で結ばれた家族のよさや感謝と敬愛の念をもって家庭生活を築き、共に支え合う家族を大切にすることの道徳的心情を育む。	
	12	・構築のこと ・ゼロ・ウェイストの町―徳島県上勝町	D20 自然愛護 C12 社会参画、公共の精神	2	・人間が自然と共存していくことについて話し合うことを通じて、自然の崇高さや自然環境を大切にするものの意義を理解し、進んで自然の愛護に努める道徳的実践意欲を培う。 ・社会の形成に主体的に参画し、多くの人々と助け合いながら社会連帯を深め、社会的な役割と責任を果たす大切さに気づき、よりよい社会の実現を目指す道徳的実践意欲を培う。	
	1	・ある元旦のこと ・誰かのために ・ネルソン・マンデラ	B6 思いやり、感謝 D19 生命の尊さ C11 公正、公平、社会正義	3	・人と人の心の通い合いのよさに気づき、人は互いに支え合って生きていることを自覚し、思いやりと感謝の心をもって他者に接しようとする道徳的実践意欲を培う。 ・「誰かのために生きる」ということを通じて、生命の尊さを有限性や関係性など多面的・多角的に理解し、かけがえのない生命を尊重する道徳的心情を育む。 ・差別する人間の弱さや受け入れる者の強さに気づき、正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接して、差別や偏見のない社会の実現に努める道徳的実践意欲を培う。	
	2	・掛け、私のトロンボーン ・運命の木―姫路城の大柱 ・メジロ	D22 よりよく生きる喜び C17 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 D21 感動、畏敬の念	3	・人間としての誇りある生き方のよさや気高さや尊さを認め、自らも弱さや醜さを乗り越えながら、よりよく生きていこうとする道徳的実践意欲を培う。 ・先人の残した伝統文化の大切さとそれを守り受け継いでいくことの意義に気づき、我が国の優れた文化の継承と文化の創造に貢献しようとする道徳的実践意欲を培う。 ・人間には人の力を超えたものを素直に感じ取り、畏れ敬う心があることに気づき、生命の尊さを自覚し、人間としてのあり方を見つめていこうとする道徳的実践意欲を培う。	
3	・千年先のふるさとへ―宮城県女川町 ・小さな手鏡	C16 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 A1 自主、自律、自由と責任	2	・その地に生きる人々を育んできた郷土が有する多様な側面に気づき、自らの郷土を愛し、主体的にその発展に努めようとする道徳的実践意欲を培う。 ・自己理解、他者理解、人間理解に基づく自己の生き方を考える大切さに気づき、道徳的自覚を支えられた自律的な生き方を通じて人間としての誇りを大切にしようとする道徳的実践意欲を培う。		
指導時間		1学期：14時間、2学期：13時間、3学期：8時間、年間：35時間				

評価について	<p>・数値ではなく、記述によって評価する。</p> <p>・他の生徒との比較による評価ではなく、生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として行う。</p> <p>・生徒の道徳性そのものではなく、道徳性を養う学習活動に着目して、学びのプロセスを評価する。</p> <p>・学習の一部分だけを見て判断するのではなく、一定期間の授業の中から生徒のよさを見いだして評価する。</p> <p>・多角的・多面的な見方へ発展しているか、自分との関わりで深めているかといった点を重視して評価する。</p>
--------	--